

Hot Paper

Kurata Akiko

2022. 春 No.11

くらたあきこ

桑名市議会 倉田 明子 会派 絆

夏の日差しを感じる季節になりました。夏になると気を付けなければならないのが熱中症。まだしばらくは感染症予防にマスク着用が必要と思いますが、熱中症にも考慮した臨機応変な対応を、お願いいたします。



昨年は、議会選出の監査委員を仰せつかり、一生懸命任務に励み、充実した一年を送らせていただきましたが、反面、皆さまのお声を質問という形で、議会の場で直接当局に届けられ

ないもどかしさも感じた一年でした。

令和4年第一回市議会定例会(2月17日～3月23日)において、一年ぶりに一般質問をさせていただきましたので、ご報告させていただきます。

今回は、なかなか収束のめどが立たない感染症、各地で起こる自然災害、対岸の有事だけでは片付けられないウクライナ問題など、不安定な世の中だからこそ、世界共通の目標SDGsの精神である「誰一人取り残さない」「取り残してはいけない」という思いから、大きく4つの項目について質問させていただきました。

質問・答弁の詳細につきましては、桑名市議会ホームページの「インターネット映像配信」「会議録」をご覧ください。ありがとうございます。

※監査委員は公正不偏を保つため守秘義務が課せられているので、任期の間は質疑・質問を控えさせていただきます。

議会テーマ

- ① 防災・減災について
- ② 公共施設について
- ③ 働き方改革について
- ④ 子どもへの途切れない支援について



朝の挨拶



市議会定例会にて



① 防災・減災について

防災力の強化について

■「防災マップ～命を守るみちしるべ～」の活用について

防災マップは全戸配布されていますが、ご覧になったでしょうか。防災に関わる情報が網羅されている充実したマップですが、この情報を皆さんのご家庭、地域の防災・減災対策にどうつなげるかは皆さん次第です。このマップを見ながらご家庭、地域で話し合いの場をお持ちいただきたいと思います。



水防訓練「積土の工法」

■防災士との連携について

防災士とは、日本防災士機構が認証する防災のエキスパートです。三重県には2,649人の防災士が登録しています。私の住む地域にも防災士がおり、地域の防災リーダーとして活躍いただいています。皆さんのお近くにもおみえになるのではないのでしょうか。



防災士による勉強会

※防災士などの防災人材の力を借りたい場合は、三重県と三重大学が設置した「みえ防災・減災センター」の防災バンクまで、お問い合わせください。

■自主防災組織について

共助の要「自主防災組織」は市内に354団体あります。結成率は71%ですが、全国の84%に比べると、まだまだ少ないですね。皆さんの地区は結成されていますか？形骸化していませんか？

■管理されていない住居の安全性について

令和4年1月末現在で、空き家は1,771件。その内管理が不十分な「不適正管理」の空き家は389件。その中で「危険性の高い」空き家は53件です。不適正管理の空き家は、災害時において二次災害につながる危険性が想定されます。市からは通知・指導・勧告が行われていますが、除去を行う場合、条件付きですが補助金が出ます。令和4年度には除去に係る土地の固定資産税の減免も実施されるそうですので、空き家をお持ちの方をご存知でしたらお勧めいただきたいと思います。

■Myタイムラインについて

Myタイムラインは、国が推奨している台風や前線を伴う大雨など災害の発生時期や規模が想定される場合の家庭等における防止対策ツールです。



車椅子の夫とパトロール

医療的ケアが必要な方に対応した防災について

■個別避難計画について

「個別避難計画」策定は市町の努力目標で、桑名市は現在、検討中のようなようです。先進的な取り組みをされている市町もありますので参考にしていただき、安心安全な個別避難計画を策定いただくよう今後も訴えていきたいと思います。



ホームページ
<https://akiko-kurata.com>

“倉田明子”を検索してください。



HP



facebook



Instagram

② 公共施設について

令和3年4月に「改正バリアフリー法」が施行され、新築時のバリアフリー適合の義務化とともに、既存の建物にも努力義務化が課せられました。

公共施設の バリアフリー化に ついて

■まちづくり拠点施設のバリアフリー化について
高齢の方や障害をお持ちの方、ベビーカーを利用される方などにもご利用いただく**まちづくり拠点施設**もまた、**バリアフリー化**が必要とされる施設です。エレベーターが設置されている施設は20施設中5施設。構造的・物理的な課題も多いようですが、避難所にもなる施設なので、エレベーター設置に尽力します。



■教育施設のバリアフリー化について

令和4年度予算で設計費用が可決され、念願だった**エレベーター**が令和5年度には陵成中学校に、令和6年度には光陵中学校に設置される予定になっており、車椅子や松葉杖の生徒や先生に明るい光が見えてきました。今後、中学校を中心にバリアフリー化を進めていくとのことですが、桑名市の学校施設は築50年以上が1/3以上占めており、バリアフリー化だけでなく、長寿命化、統廃合なども見据えた長期的展望の計画を立てていただくよう、今後も要望していききたいと思います。



車椅子用階段昇降機



壁塗り替え作業



劣化の進んだ校舎

公共施設の 利活用などに ついて



■北庁舎跡地活用の進捗状況について

北庁舎は以前は図書館としても使われていたなじみ深い庁舎ですが、耐震性の問題から現在は閉鎖しています。令和2年に民間事業者から既存建物の撤去・管理運営を含めた事業提案をいただきましたが、その直後に新型コロナウイルス感染症のまん延で事業展開が止まってしまいました。事業者は事業を完成させたいという意欲を持っているとのこと。市役所に来るのが楽しみになるような施設を期待したいと思います。



桑名市役所北庁舎

③ 働き方改革について

保育所(園)での 取組について



■保育管理システムの標準化について

夫婦ともに働くご家庭が増え、少子化傾向にもかかわらず保育所(園)のニーズは高まっています。そこにコロナ禍の感染対策という仕事が増え、保育士の皆さんはとても疲弊しています。保育の質を落とさずに負担を軽減するためにも現在2保育所で導入されているICTシステムを他の保育所にも導入する等、事務のシステム化を訴えています。



④ 子どもへの途切れない支援について

システム化に ついて ~子育てしたいまちへ~



この子も4月から保育所に
入園しました

■子どもに係る各所管の連携について

システム化することで子ども総合センター内や教育委員会等関係諸機関とも情報共有ができるようになります。胎内に命が芽生える妊娠期からの**一人ひとりの途切れない支援**のためにも、さらなる充実を求めていきます。



桑名市母子健康手帳

■隠れ待機児童について

これまで保育施設等を利用しているお子さんの保護者が育児休業を取得する際、そのお子さんが3歳児クラス未満の場合には、桑名市においてはいったん退園していただいていた。そのことにより年度途中で働き始める保護者さんが、お子さんを預けることができる、いわゆる隠れ待機児童対策になっていました。反面、子どもたちは慣れ親しんだ保育所(園)に通えなくなることで友達と遊べなくなり、成長への影響が危惧されていました。保護者の方々からの要望も多く、本年4月から**育児退園が廃止**となりました。心配していた隠れ待機児童の問題も**「らいむの丘保育園」**が開設されたことで解消されるとのことです。



福祉ヴィレッジ(らいむの丘保育園)

■現状の取り組みについて

地域健康支援システム「健康かるて」の導入により、バラバラに保管されていたデータが一括管理できるようになり、より迅速な対応ができるようになりました。また、子ども発達・小児在宅支援室の相談の**予約システム**を母子保健係と共有することにより早期発見・早期療育につなげることができるようになります。